

# 教師用 指導案

## 1. テーマ・授業名

テーマ2 パラリンピックスポーツ

授業5 「ガイドランナーを体験しよう！」

【豆知識】

視覚障害者の走競技は、障害の程度（視力や視野、見え方など）によってクラス分けされている。クラスによって、ガイドランナーの要・不要がルール化されている。

## 2. 授業の目標

- ・ガイドランナーの体験を通して、音声による情報の大切さや相手の立場になって考えること、お互いの気持ちを合わせて協力し合うことの重要性に気づく。
- ・視覚に重度の障害がある人が、スポーツを楽しむための工夫について知る。
- ・競技を体験することで、視覚障害の走競技に興味を持ち、応援したり、ガイドランナーと一緒に走ってみたいという気持ちを持つ。

## 3. 本時の位置づけ

- ・道徳の「信頼」「相互理解」などの視点における事例学習としての活用。
  - ・総合的な学習の「福祉」の授業での活用。
- ※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

## 4. 指導の留意点、工夫点

- ・目が見えない状態で走ることは怖くもあり、危険も伴うことを十分理解させ、ふざけることがないように、笛を吹いたり、行動を短く区切ったりすることで、注意を促す。
- ・最初から走るのではなく、声かけの具体例を学んだり、映像を見せたりするなど、段階をふみながら、ガイドランナーの重要な点に気づけるようにする。

※詳細は「かんたん！陸上競技ガイド」（公財）日本パラスポーツ協会発行

[https://www.parasports.or.jp/about/referenceroom\\_data/competition-guide\\_01.pdf](https://www.parasports.or.jp/about/referenceroom_data/competition-guide_01.pdf)

## 5. 準備物

- ・授業用シート（2-5）
- ・児童用ワークシート（2-5）
- ・映像資料：2016 リオパラリンピック 男子 100 メートル T11 決勝
- ・目を隠すもの（タオル、手ぬぐい、アイマスクなど）
- ・ロープ（1メートルほどのひもの端を結んで輪にする）
- ・コーンなど障害物となるもの

【映像資料】



【競技説明】



〈展開案〉※【 】内は経過時間

時間	学習活動 ○子どもの活動 (引き出した子どもの声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
導入 (2分) 【2分】	今日のめあてを確認しよう！		授業用シート (2-5)
	○今日のめあてを理解する。	○視覚障害の他のスポーツ（サッカー、ゴールボールなど）の観戦のマナーなども例に挙げながら、見えない状態になることが多いので、基本は静かにする、笛を吹いたら話をやめるなどのルールを徹底する。 ・この写真中でガイドランナーは誰？ ・何をする人だと思う？	
準備体操 3分 【5分】	準備体操をしよう。		
展開① (20分) 【25分】  目安 予備知識 インプット 5分	言葉だけで、動作を伝えることができるかな？ 見えないときに、どのように伝えるとわかりやすいかな？		授業用シート (2-5)
	○目隠しされた人に、言葉だけで、動きを伝えるシーンをしたり、体感することで、言葉の選び方や伝え方に工夫が必要だと気付く。	○目隠しされた人に、どう伝えたら通じるのかを、児童自身が気付くようにしたい。  ○代表者に言葉だけで動作を伝える体験をさせて、どのようにしたら適切に伝えることができるかを考えさせる。	
<p>① 代表を2人選ぶ（1人はアイマスクをつける。もう1人はガイド役）</p> <p>② アイマスクをつけた児童が、教師と同じ動作をできるようにガイド役が説明をする。</p> <p>【教師の動作例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お辞儀をしてから、屈伸運動を3回する。</li> <li>・座って足を開脚し、前屈動作をする。</li> <li>・右腕を伸ばし、右手の人差し指で右斜め45度上を指さしながら、アキレス腱を伸ばす運動をする。など</li> </ul>			
	○体験により、数字等を使った、より具体的な指示がわかりやすいことに気づき発表する。 ・角度を言うとわかりやすい。 ・回数なども言うといい。 ・あっちとかこっちとか言わず、「10メートル先45度右カーブ！」や「左90度！」とか具体的に言った方が良いと思う。	○児童全員に体験させてもよいが、その場合は、ぶつかることのないように、間隔などを十分に取るように注意する。  ○児童にある程度発表させた後、ガイドランナーのルールや役割を確認する。  ○クロックポジションや角度などは、難しいので、参考程度に扱おうとよい。	

時間	学習活動 ○子どもの活動 (引き出したい子どもの声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
体験 15分	<p>「歩く」練習をしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイマスク、ローブを使って、コーンを回って折り返すなどの練習。</li> <li>・慣れたら、コーン（障害物）をよけて歩いたり、コーンを増やして、曲がる回数を多くしたりする。</li> </ul> <p>○見えない状態で走ること、ガイドをすることを体験する。</p> <p>○体験していない時も、他の人を観察することで、ガイドランナーには何が大切かを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったより怖かった。</li> <li>・具体的に言おうとしたけれど、とっさには言葉が出てこなかった。</li> <li>・1.2、1.2と声をかけるとうまく走れる。</li> </ul>	<p>○安全のために、スタートの合図は教師が行う。</p> <p>○体験をした後に、うまくいったペアの理由などを聞いて、全体に展開するとよい。</p> <p>○直線だけではなく、コーンを回って戻ってくる等の動きを入れる。簡単に感じているようであれば、距離を長くしたり、曲がる回数を増やしたりする。</p>	授業用シート（2-5）
展開② (15分) 【40分】 目安 映像 1分45秒  体験 13分	<p>映像を見よう！</p> <p>○実際の競技の様子を見て、選手とガイドランナーの息が合っていることに気づく。</p> <p>「テンポよく走る」練習をしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手とガイドランナーの息が合っている状態を目指す。</li> </ul> <p>○選手とガイドランナーがテンポを合わせて走る体験をする。</p>	<p>○映像を見ての感想を発表させ、選手とガイドランナーの様子に気づかせる。</p> <p>○直線のコースにする、ゴール地点から先に障害物がないようにする、壁から距離を取るなど、安全には十分注意する。</p>	映像資料： 2016 リオパラリンピック 男子100メートル T11 決勝
振り返り まとめ 片づけ (5分) 【45分】	<p>今日、思ったことを発表しよう！</p> <p>○体験して思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉は大切だった。</li> <li>・すぐに指示ができなくて大変だった。</li> <li>・相当練習が必要だと思った。</li> <li>・選手とガイドランナーには信頼関係が大切。</li> </ul>	<p>○感想を2～3人に発表させ、ガイドランナーの難しさや重要性、選手とガイドランナーの気持ちに気づかせたい。また、この体験を通して、視覚障害者にとってのガイドランナーや音声による情報の持つ意味についても考えさせたい。</p> <p>○今日の感想を宿題として出す。</p>	授業用シート（2-5） 児童用ワークシート（2-5）